

5月05日

## 「神様が感動される祈り」

神様は私たちに語られるだけでなく、私たちの声を聞かれます。驚くべきことに、神様は過去に語られただけでなく、今も語られ、今も聞いておられる方です。これこそ、私たちの礼拝が力となる理由であり、私たちの祈りが応えられる理由です。

神様がみ声を聞かせてくださった話が、聖書に何度も出てきます。その代表的なのが、ソロモンが聞いた「あなたに何を与えようか。願え」(I列 3:5)という御声です。多くの人が神様のみ前に出て自分の願いを求めますが、ソロモンの場合は神様のほうから願うものを尋ねられました。

ところで、神様はいつソロモンにそのように質問されたのでしょうか。それはソロモンが千匹の全焼の捧げものを捧げた後です。神様はご自分を礼拝する者、ご自分を感動させる者、ご自分を愛する者を喜ばれます。そのような人を祝福することを望まれます。

「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。(マタイ 6:33)。

私たちが聞きたいこともあります、神様が私たちから聞きたいと願っておられることもあります。時には神様のほうから私たちに質問されるのです。

神様が質問される時、神様が感動されるような返答をすることが出来るようになりたいものです。その日のために、神様に向かって愛と献身を告白し、使命のために生きる者となれるように祈りましょう。

月刊誌 リビングライフより

# 週報

## § 今年の教会テーマ 「主を仰ぎ見つつ」

## § 今年の主題聖句

「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、  
目を離さないでいなさい。」 ヘブル 12章2節  
「彼らが主を仰ぎ見ると、彼らは輝いた。」 詩篇 34篇5節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2  
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード  
鈴鹿キリスト福音教会  
059-383-5145(教会)

5月05日

本日のメッセージ 「福音を弁明するパウロ」  
聖書 使徒 26:19~29

『しかし、パウロはこう答えた。「わずかな時間であろうと長い時間であろうと、私が神に願っているのは、あなたばかりでなく、今日私の話を聞いておられる方々が、この鎖は別として、みな私のようになってくれることです。」 使徒 26:29』

※ パウロは誰に対しても、またどのような場合でも、福音すなわちイエス様のことを証しするのをためらわなかった。

Ⅱ テモテ 4:2 「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」

※ 私たちが福音（イエス様）に対してどう応答するか、その違いによって、私たちの人生は後々まで大きく左右される。

\*使徒 26 章に出てくる人たち→三者三様である

1. パウロはまるで別人と言っていいほど、大きく変えられた。
2. ローマ総督フェストゥスは全く理解できず、退けた
3. アグリッパ王はそれなりの聖書理解をしていたが、自分の利害や王としての身分を考えて（優先し）福音を受け入れなかった。

【報告】

※ 先週、礼拝後に洗礼式が持たれ、原田直也兄と恵美姉が受洗しました。おめでとうございます。

※ 本日礼拝では聖餐式をもちます。

※ 婦人グループの活動として計画されています「つながるカフェ」が 5 月 24 日にもたれます。

理解できない計算法

一時間働いた人にも八時間働いた人にも同じように一デナリずつ与えることが天国の価値観です。しかし、世の価値観は働いた分だけです。

世の労働の価値と原理は働きの原理ですが、神の国の原理は恵みの原理です。

世では一時間労働と八時間労働の代価が同じになることはありません。それだけではなく、同じ一時間を働いても能力の程度により差をおきます。

このような世の価値観に照らしてみると、天国は全く違う秩序と価値観を持っています。

不完全ですが、天国の秩序と価値観がこの地で実現している場所が教会です。

しかし私たちは教会の中で世の価値と秩序をそのまま適用しようとしません。教会でもお金の多い人、地位のある人、多く学んだ人がもてなしを受けるという考えを、自分も知らないうちにするようになります。

霊的な秩序は、葛藤を与えません。

しかし、階級的な秩序は人に葛藤をもたらします。

「愛するあなたに」 ハ・ヨンジョ